

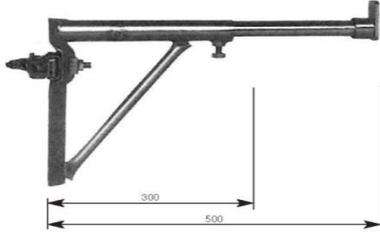
ブラケット

品名	伸縮ブラケット			
	品番	E500	E750	E1000
	調整範囲(mm)	300~500	500~750	750~1,000
重量(kg)	5.2	6.5	8.0	

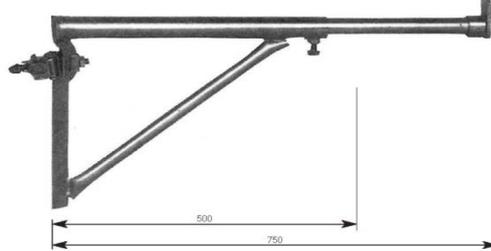
品名	ブラケットクランプ		
ネジ寸法	W1/2	重量	0.7kg

品名	跳ね上げブラケット		
調整範囲(mm)	215~325	重量	2.37kg
1梱包 7個			

E500(認定番号WA-08100)

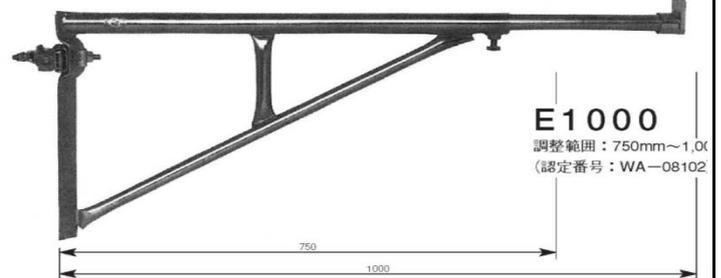


E750(認定番号WA-08101)



1梱包 E1000 100個
ほか 160個

E1000(認定番号WA-08102)



E1000
調整範囲：750mm~1,000
(認定番号：WA-08102)



跳ね上げブラケット

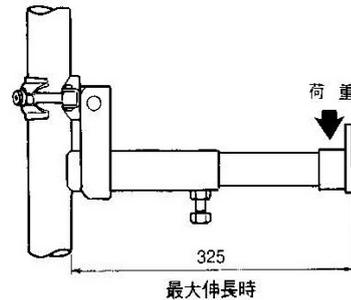
調整範囲(mm)	215~325	重量	2.37kg
1梱包 7個			

■留意事項

1. 作業足場としては使用しないでください。
2. 使用できる足場板の幅は250mmまでです。

■強度試験

試験体 No.	1	2	3	平均
最大荷重(KN)	5.54	5.64	5.68	5.62



最大伸長時

■作業手順

1.

足場の建て地に跳ね上げブラケットを取付け、足場板をセットします。(足場板を乗せる場合は跳ね上げブラケットを最大に伸ばしてください)跳ね上げブラケットの取付け間隔は一層おきに各スパン毎としてください。

2.

躯体外部の仕上げ工事等の際は跳ね上げブラケットをはねあげ、先端のクサリを建て地からめて固定します。これにより大きな作業スペースが生まれます。

3.

枠組用足場板(床付き布枠)を使用する場合は、はねあげ時の脱落を防止するため、クサリを爪にからめた後、持ち上げてください。長尺足場板を使用するときは、安全バンドなどで跳ね上げブラケットに固定してください。

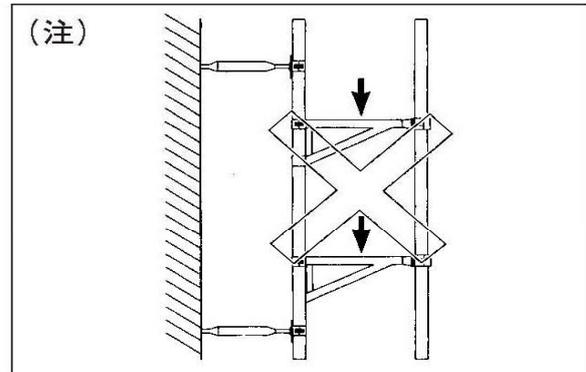
ブラケット

品名

伸縮ブラケット

●伸縮ブラケット取り扱い注意事項

- 桝組足場(及び単管足場)の補助足場として用いられる場合は、一枚当りの持送り桝の許容支持力は2.45KN以下とするべきである。
- 一側足場として使用する際は、巾600mm以下のものとし足場の高さは、15m以下とする。なお一枚当りの許容支持力は1.47KN以下とする。
- 単管足場の場合、壁つなぎ間では、ブラケットに同時載荷してはならない。(注)
- ブラケットのクランプ締付トルクは、2.45KN・cm程度にする事。(締め過ぎは、ボルト破損の原因になります。締め忘れにも御注意下さい。)
- 桝組足場の場合ブラケットは、桝組の補強材加工個所内に取付けるのが最適。
- 桝組足場、単管足場共ブラケット取付位置は壁つなぎの最近部が最適。
〔ブラケット一側足場の安全基準及び仮設機材要覧抜粋〕



●性能

項目	型式	E500	E750	E1000
強度試験	中央荷重(KN)	88.2以上	88.2以上	82.3
	先端荷重(KN)	27.9	28.4	29.4
荷重8.8KN時の滑り量(mm)		0.1	1.5	1.2

●(社)仮設工業会認定基準

持送りの桝の性能は、取付金具が緊結式ののものにあっては、建桝等に取り付けた場合の滑りが表-1に示す条件を満足する事、又、建桝等に付けた場合の水平材の中央部の強度(長さ調節型については最長使用時)及び、水平材の先端部が斜材からはね出した構造のものにおいては、水平材の先端部(長さ調節型については最長使用時)の強度が表-2に示す条件を満足する事。

試験の概要を図-1に示す。

表-1 (mm)

23.5KN時の滑り量
A148
A149

表-2 (KN)

荷重の位置	全組数の平均値	全組数のうちの最小値
水平材の中央部	39.2	35.3
水平材の先端部	25.5	22.7

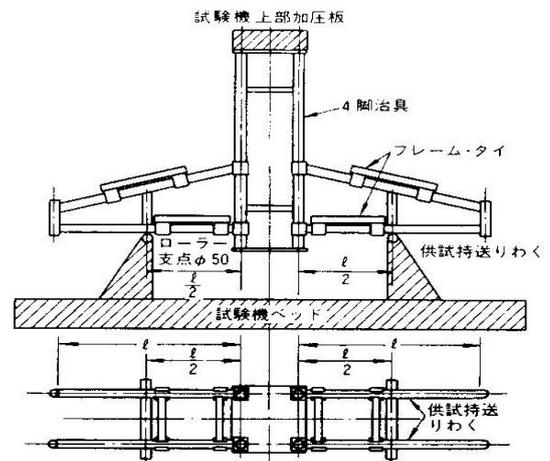


図-1 持送り桝の性能試験方法